



electronica India



productronica India



Messe München

## ファイナルレポート

国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市  
国際電子部品製造技術専門見本市  
インド / バンガロール国際展示場  
2018年9月26日～28日

2018年10月2日

### electronica India、productronica India 2018

質の高い来場者が史上最多、出展社数も過去最高の伸びを見せる

#### Summary

- 出展企業、27カ国から592社(前年比30%増)
- 来場者、25,000人超(前年比34%増)
- 8カ国のパビリオン

#### Facts & Data

会 期	2018年9月26日(水)～28日(金) 午前10時～午後6時
会 場	インド・バンガロール国際展示会場 Pragati Maidan
主 催	Messe München - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 企 業	27カ国から592社
来 場 者 総 数	25,000人超
主 な 出 展 品	<electronica India> : 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、 モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技 術、ディスプレイ、電源装置 <productronica India> : 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、 PCB及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセ ンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケー ジング、製造関連サービス、はんだ付け技術
出展日系企業 (公式出展企業として登 録されている企業のみ)	アルプス電気(株)、(株)イトー、SMK(株)、NKKスイッチズ(株)、菊水電子工業(株)、(株)サキ コーポレーション、(株)幸手スプリング、佐鳥電機(株)、(株)島津製作所、JUKI(株)、進工 業(株)、スタンデックス エレクトロニクス ジャパン(株)、スミダコーポレーション(株)、住友 電気工業(株)、双日(株)、タツタ電線(株)、第一精工(株)、第一実業(株)、(株)ディスコ、(株)電波 新聞社、DOWAメタルテック(株)、(株)ニコン、ニチコン(株)、日本航空電子工業(株)、パナ ソニック(株)、(株)原田伸銅所、ピコ(株)、ヒロセ電機(株)、富士通エレクトロニクス(株)、マイ クロクラフト(株)、(株)村田製作所、協立電機(株)、ローム(株) 他
専 用 U R L	<a href="http://www.electronica-india.com">www.electronica-india.com</a> / <a href="http://www.productronica-india.com">www.productronica-india.com</a>

ビジネスの活気あふれる三日間、インド最大のエレクトロニクス見本市は明るい雰囲気にも包まれるなか幕を閉じた。来場者はネットワーキングや世界各地の最新技術を体験しながら、各々の時間を過ごした。

electronica India と productronica India 2018 は、2018 年 9 月 26 日から 28 日にかけて、インド・バンガロールのバンガロール国際展示会場にて開催された。

過去の開催と比べて、出展参加国の数は大幅に増え、出展企業数は 30%増加した。世界各国からの参加者は、インド国内の成長するエレクトロニクス産業にとって重要となる新たな技術トレンドを明らかにすることとなった。

また、来場者数は 25,000 人を超え(前回より 34%増加)、最高記録更新という成果をあげた。IPCA Expo と共同開催することによって見本市間に相乗効果が生まれ、今回の新記録の達成につながったといえる。

### 「業界のイノベーションプラットフォーム」

メッセ・ミュンヘン・インド代表のプピンダー・シンは、次のように話した。「electronica India と productronica India は、インドのエレクトロニクス・コミュニティを代表する見本市だ。出展企業からは、圧倒的な結果と質の高い来場者に対して高評価を得ることができ、非常に嬉しく思う。ネットワーキングフォーラムには非常に多くの人達が参加し、業界にとって最も重要なイノベーションプラットフォームとしての地位を回復させた」

参加者は、各業界を包括的にカバーする見本市の展示範囲を高く評価している。

Sumida Trading インド支社長の Prasad Bakre 氏は、「ブースに訪れる驚異的な数の来場者を目の当たりにして、成長機会の計り知れない広がりを実感し、その対応計画を立てることができた。会場の雰囲気も極めて成長に資するもので、メッセ・ミュンヘン・インドのチームが示すホスピタリティと組織としての能力にも大変満足している」と話した。

PIC 社のマーケティングマネージャー、Kai Hold 氏は次のように述べている。「当社は、インドで 10 年以上もビジネスを続けており、electronica India には長期にわたって出展してきている。このイベントは確固たる顧客基盤を築く手助けをしてくれるだけでなく、毎シーズン、会場でより多くの潜在顧客とつながりを持つことができている。こうした行動をとることができて嬉しく思うとともに、拡大する顧客基盤に効率的に対応するために、インドの生産プロセスが強化されていくことを楽しみにしている」

Mahindra CIE Automotive 社セールス部門セクションマネージャー、D.N.Srinivasa 氏は次のように述べている。「electronica India と productronica India は、出展企業が最新技術を展示するための有効な機会を提供してくれるエレクトロニクス分野において、非常に刺激的な見本市だ。当社の出展目的の一つは、最新の製品をすべての潜在顧客に展示することだ。この見本市は、新しいビジネスのつながりを広げてくれるという観点からも、当社にとって非常に有益だった」

中国、ドイツ、韓国、シンガポール、台湾、英国に、初となる欧州連合(EU)とスリランカを加えた 8 カ国がパビリオンを設置したことからも、インドにおけるエレクトロニクス市場の成長の可能性が伺える。

### 来場者はサポートプログラムを高く評価

成長するエレクトロニクス産業のニーズを満たすべく、3 日間で 8 件の会議とワークショップが開催された。Advantage India サミットではインドのモバイル製造市場の動向に重点が置かれ、e-Automotive カンファレンスでは、インドの自動車業界におけるモビリティの未来について話し合われた。これらの会議は今後の技術動向を浮き彫りにし、多くの参加者を集めた。

CEO フォーラム、インド PCB テックカンファレンス、IPC インドワークショップでは、エレクトロニクスによるエコシステムの全体がカバーされ、業界共通の重要な懸案事項について議論された。

### バイヤー・セラー・フォーラムでビジネスネットワーク拡大

革新的で、しかも市場に出て間もないエレクトロニクス技術を求める様々な業界セクターのバイヤーは、3 日間の見本市期間中、バイヤー・セラー・フォーラムにて参加出展企業の担当者と交流した。満員のラウンジでは、各所で責任者同士の討論が行われた。一部を例に挙げると、Bharat Electronics、Hella

Automotive、Samsung India、Secure Meters、Valeo 等の企業によって、1,250 件もの個別会議が開かれていた。

バイヤー参加者の 1 人、Bharat Electronics 社代表の Hardeep Singh Gill 氏は次のように語っている。「electronica India と productronica India は、毎年成長が見られる。この見本市は、最も先端的で破壊的なテクノロジーが多く展示されているので、毎回楽しませてもらっている。私たちのようなバイヤーは、参加することで大きな利益を得ている。また、出展企業との交流もあり、真摯な販売者と議論をすることもできた。そして、販売者のほとんどと交流できたことは非常に有益な経験となった。また見本市に参加することを本当に楽しみにしている」

Singh 氏は次のように結論づけた。「全体として今回の見本市は大成功であった。インド・デリーでの次回開催に対しても圧倒的な反響を得ており、我々はさらに大きくなるであろう次回の見本市を楽しみにしている」

次回の electronica India、productronica India は 2019 年 9 月 25 日から 27 日、新開催地となるインド・デリー首都圏のグレーター・ノイダにあるインドエキスポセンターを予定している。

見本市の詳細情報並びに写真は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India: <http://electronica-india.com>

productronica India: <http://productronica-india.com>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)